

犯罪のない安全で安心な【清流の国ぎふ】の実現をめざして

岐阜県安全・安心まちづくり

フレンドリー企業

活動事例集

事業者の自主的な地域安全の取り組みを紹介



地域安全シンボルマーク

岐阜県 2015

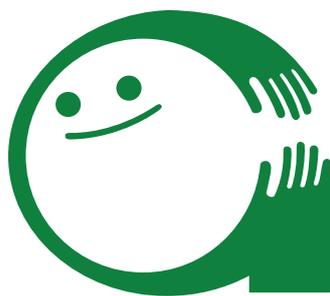
自分の地域の安全は、自分たちで守る。

岐阜県では、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に向け、平成14年度から「安全・安心まちづくり県民運動」を展開し、「自分の地域の安全は自分たちで守る」を合言葉に、防犯のまちづくりを推進しています。

この事例集では、地域で自主的な防犯活動に取り組む「岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業」のなかでも、地域の安全確保に貢献する優れた活動により「岐阜県安全・安心まちづくり賞」を受賞された19の企業・団体の活動を紹介しています。

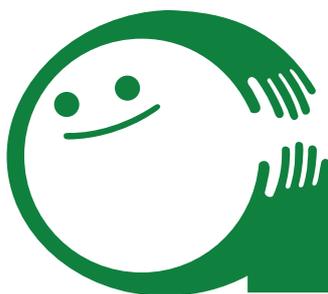
地域の様々な主体が防犯活動に取り組むことは、社会全体の犯罪に対する抵抗力を高め、県民の皆さまを犯罪被害から守る大きな力となります。この事例集を、地域の安全に関わる多くの皆さまに、安全で安心して暮らせる「清流の国ぎふ」づくりの一助として活用していただければ幸いです。

安全・安心



目次

◆目次	1
生活協同組合コープぎふ（各務原市）	2
ハートランス株式会社（岐阜市）	4
◆インタビュー「多治見自警団」	5
一般社団法人多治見建設業協会（多治見市）	8
一般社団法人日本自動車連盟岐阜支部（岐阜市）	9
社会福祉法人大垣市社会福祉協議会（大垣市）	10
中津川市新聞販売店地域安全協力会（中津川市）	11
古川町商工会（飛驒市）	12
カラフルタウン岐阜 株式会社トヨタオートモールクリエイト（岐阜市）	13
株式会社鳴海組（中津川市）	14
岐阜県タクシー協会（岐阜市）	15
株式会社横建（各務原市）	16
株式会社桃井建設（中津川市）	17
株式会社山田組（羽島市）	18
東清株式会社（中津川市）	19
社会福祉法人岐南町社会福祉協議会（岐南町）	20
中部電力株式会社中津川営業所（中津川市）	21
陶都信用農業協同組合（多治見市）	22
社会福祉法人中津川市社会福祉協議会（中津川市）	23
◆フレンドリー企業の募集	24



地域のくらしを見守る、共同購入

生活協同組合 コープぎふ

所在地	各務原市鵜沼各務原町
代表者	理事長
従業員数	1,194人 (このうち共同購入の支所669人) ※そのほか、宅配委託先の職員や組合員の皆様にもコープぎふ職員と同様に見守り活動に取り組んでいただいています。
業種	生活協同組合
活動開始	平成11年3月
活動エリア	県内全域 (共同購入事業の配達拠点は9支所：飛騨、益田、恵那中津、多治見、中濃、各務原、岐阜南、岐阜西、西濃) ※共同購入は、組合員の要望によって企画された商品案内カタログを組合員に配布し、ご注文いただいた商品を毎週(夕食宅配は平日毎日)お届けします。お届けの場では、担当する職員が組合員お一人おひとりと直接のコミュニケーションをはかります。

活動の経緯

平成11年3月に岐阜県内3生協(飛騨生協・岐阜地区市民生協・岐阜消費生協)が合併して生活協同組合コープぎふを発足。

平成18年から平成27年9月現在までに、コープぎふは岐阜県内の15自治体と1社会福祉協議会との間で高齢者等の見守り活動に関する協定を締結し、自治体・社協が行っている地域の見守り活動に協力しています。また、2自治体の通報窓口を確認し連携しています。

平成25年1月、組合員お一人おひとりとの直接のコミュニケーションによって展開する共同購入事業そのものが地域の見守り活動であること、また、自治体や社協が行っている地域の見守り活動に協力していくことを全県に広げ、「コープ見守りねっと」として取り組んでいくことを組織内で確認しました。コープぎふの理念「笑顔あふれる協同のくらし」、誰もが安



心して住み続けられる地域社会の実現をめざしています。

工夫したこと・特色

職員が「いつもと違う」異変に気づく感度を高めていくことが大切なため、見守り事例を組織全体で共有化するようにしました。

活動の成果、今後に向けて

異変に気づいた際、生協だけでは対応しきれません。そのため、行政や地域の皆さんとのつながりをより一層ひろげていくため、今後も個々の自治体などで行われている地域の見守り活動への参加協力をすすめていきたいと思えます。

共同購入事業での見守り活動の事例 (担当職員の日報から)

<地域の行政等へ通報、支援へつなげる>

協定締結窓口、社会福祉協議会、地域包括支援センター、自治会長さん、民生委員さん、ご近所さん、警察、救急車

・(女性) お届け時いつも直接のお渡しだが応答なし。玄関を開けて声をかけたところ額から血を流して倒れているのを発見。受け答えはしっかり。→支

平成17年度
岐阜県 安全・安心
まちづくり賞

平成27年度
岐阜県 安全・安心
まちづくり賞

所へ連絡。支所から社協さんへ連絡。→救急車を要請。お身内の組合員さんの勤務先に連絡したがつながらず。救急車到着まで付き添う。社協さんからお身内と自治会長さんへ連絡。→再度組合員さんへ搬送先病院名を連絡。消防から連絡済であった。

・(80代男性)夕食宅配お届け時、普段は在宅だが返事なし、新聞も溜まり、エアコンは動いているが電話はつながらず。→地域包括支援センターへ連絡。保健師さん訪問。→警察、ご親族へ連絡。家の中で倒れているのを発見。残念ながらお亡くなりになられる。

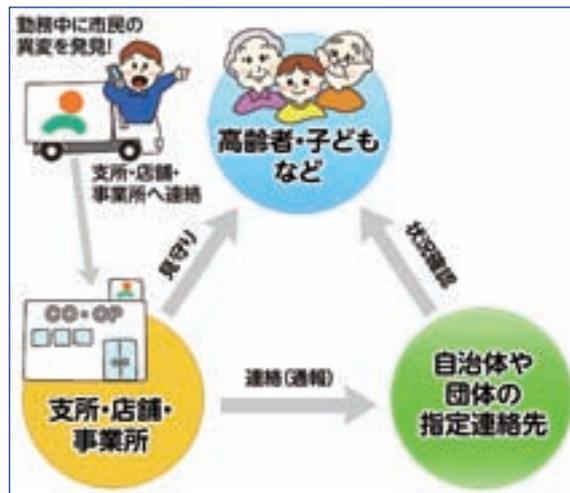
・(70代女性)夕食宅配お届け時、普段は在宅だが返事なし、当日の新聞が残っているのを発見。→お隣の自治会長さんへ状況説明。→民生委員さんへ連絡。→民生委員さんからご親族へ連絡。入院中であることが判明。

・(80代女性)お届け時「お願いします」のメモあり。お留守と思い商品配置していると、何か奥から声が。家のトイレのドアが開いており、お名前をお呼びしながら行くとしゃがみ込んでみえるのを発見。→「風邪で声が出ない。昨日子どもに病院に連れて行ってもらったから大丈夫。」と言われるが意識もうろうとして倒れてしまわれる。→救急車を呼ぶため住所を調べようと支所へ連絡。すると意識は戻られ「風邪なので呼ばなくていい。」とのこと。玄関は寒いので2階住居の部屋までお連れする。→同町内の組合員さんに話をし、お身内へ連絡をお願いする。→15時お願いした組合員さんに連絡。近所の方が見に行ってくれ大丈夫だったと確認。

・(80代女性)夕食宅配のお届け時、家の中にみえ、お話するが、ドアロックのはずし方がわからない、足を怪我されたとのこと。→心配で再訪問。ドア向こうでお話ができるが怪我で動けない様子。→地域包括支援センターさんへ連絡。→支援センターさんからお身内へ連絡。入院されることに。

<高齢者お一人暮らし…心細さ>

・(女性)ご主人を亡くされお一人暮らしの組合員さん「1人はさみしい。」「1人だと何もできない。」「倒れても誰も気づいてくれない。」→担当職員から市との間で見守り



協定を締結したことをお伝えすると、「本当に心強いわ。絶対に生協の日は家に居るので何か気づいたらお願いね。」と強くお願いされた。お届け時に少し時間をとって世間話をするようにします。

・(80代女性)お一人暮らしの組合員さん「いつ倒れとるかわからないから、おかしいと思ったら救急車を呼んで欲しい。」→お話して来週娘さんの電話番号を教えてください。

<高齢者お一人暮らし…遠方に住む子どもさんが親御さんを心配されて>

・(80代)お一人暮らし。買い物が大変だからと遠方に住む息子さんの手続きでご利用。→お届け時にたまたま居宅介護支援の相談員さんがみえ「万が一の時は連絡下さい。」と言われた。今後体調なども注意してさしあげたい。

・(女性)高齢でお一人暮らし。大変関心を持たれた火災共済について数週間説明しているが話がいつも振り出しに戻ってしまい、どうも様子がおかしい。組合員さんの理解を得て娘さんに連絡。→娘さん「実は認知症を患っています。普段はどうですか？迷惑をかけていませんか？近々母のもとに移住します。それまでどうかよろしく願います。」担当職員「担当者として出来る範囲でお見守りさせていただきます。」

<認知症の方を保護>

・注文書回収時、おかしい位置にとまっていた自転車と、石垣に座っていたおばあさんを見て、おかしいと思い、声をかける。→警察へ連絡。→自転車からすぐに家の方と連絡がとれる。おばあさんは市外から来てみえた。

<訪問販売>

・(女性)お届け時、組合員宅に訪問販売の営業の方がおられ組合員と会話中。営業の方が電話で席を外されると、組合員「実は断りたいんやけど押しが強くてなかなか断れん。困ったなあ。」→担当職員「断るまで一緒にいますので大丈夫ですよ。」→時間はかかりましたが組合員さんはなんとかお断りでき「助かったわ。ありがとう。」

<生協を通して地域の人と人のつながり>

・(女性)お届け時休む際は必ず連絡いただく組合員さんが今日は同じ班の方にも連絡なく休まれる。同じ班の方が商品を預かりお宅へ届けてくださることに。→同じ班の方がお宅へ届けると、具合が悪く苦しんでいる組合員さんを発見。別の場所で作業中のご主人に知らせ、救急車を要請。→入院されることに。組合員さんより「あの日、生協があって本当に良かった。」「生協のおかげで気付いてもらえた。」→担当職員より…毎週なんでもない会話をしたりと、組合員さんと接する大切さを改めて実感。

<買い物支援>

・(男性)組合員さん「生協が配達してくれるから本当に助かっている。」「また楽しみに待ってるからね。」→担当職員より…いろいろな話をしてくださり、組合員さんは買い物に本当に困っておられ生協の役割が大きいことを実感。週に一度だけお会いし、会話が出来る時間を大切にしていきたい。

<防火>

・配達中、お店の看板に火がついているのを発見。→その家の方にお知らせし、火事を未然に防ぐ事ができた。

<共同購入事業=見守り活動 職員より>

・担当職員より…心配りや気遣いをコミュニケーションの一つとして大切にしています。普段お会い出来る方へは、どんなに忙しくても、2、3分はコミュニケーションをとるようにしたり、年配の方にはいつも「体調はどうですか？」と声をかけるようにしています。

活動を継続的に行うため、役割分担を明確に

ハートランス 株式会社

所在地	岐阜市大脇
代表者	代表取締役 大野健治
従業員数	390人
業種	運送業
活動開始	平成7年4月
活動エリア	岐阜、西濃、中濃、東濃地域

主な活動内容

- 県内配送車両による
防犯パトロール活動（平日毎日）
西濃・中濃・東濃地域を定期配送する車両に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、ドライバーへは不審な事案を発見した場合の手順書（緊急連絡先等）を携行させ、迅速に連絡が取れるようにしています。
- 「子ども110番の家」活動
本社営業所と岐阜営業所を「子ども110番の家」に登録し、子どもがいつでも駆け込める体制を整備しました。担当の社員へは、子どもが駆け込んだ場合の対応マニュアル（（公財）岐阜県防犯協会発行『子ども110番の家』活動マニュアルを活用）を配布し、早急に関係機関へ通報できるようにしています。
- 応急手当協力事業所への登録、
AED設置情報の公開
従業員への応急手当と地域の皆さまへの応急手当を企業として積極的に取り組む目的で、岐阜市消防本部への応急手当協力事業所に登録しました。本社にはAED（自動体外式除細動器）と応急手当用の救急箱を配備しています。また、普通救命講習を従業員が受け、取扱方法と救命方法を習得して緊急の対応に備えています。
平成27年3月には、岐阜営業所に設置してあるAEDについて、岐阜市ホームページ・岐阜市AED設置マップ・一般財団法人日本救急医療財団に登録し、情報を公開しました。



平成17年度
岐阜県安全・安心
まちづくり賞



活動をはじめた経緯

防犯パトロール活動は、県内での配送車両が数十台あり、それらの車両を使用して防犯活動に役立てないかと考え、平成17年から始めました。「子ども110番の家」の活動は、事業所へ登下校中に児童がトイレを利用することや落し物が届けられたりすることがあり、「子ども110番の家」制度に登録して、より児童が利用しやすくなることを目的に、平成18年から活動を始めました。



工夫したこと

活動を始める際には、所轄の警察署や事業所のある校区の小学校関係者の方に相談し、調整を図りました。活動を継続的に行うため、役割分担を明確にして人任せにさせないようにし、統括する責任者は活動に対して目配りするように心がけています。

活動の成果、今後に向けて

○安全品質管理室 係長 加藤正範さん
活動にあたっては、活動の目的・役割を明確にした仕組みをつくるのが大切だと思います。これまでに防犯パトロール活動、子ども110番の家等を通じて連絡や駆け込みがあった事例はありませんが、今後も地域社会貢献として活動を継続していきたいと考えています。

多治見自警団



○企業をはじめとして地域のさまざまな主体が防犯活動に取り組むことは、安全で安心な地域づくりには欠かせません。多治見市内の企業の集まりで地域の見回り活動を続け、平成18年度に「岐阜県安全・安心まちづくり賞」を受賞し、平成24年には「安全・安心まちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞された多治見自警団で、団長を務めておられる松島祥久さんにお伺いしました。

―― 松島さん、まずは活動を始めた経緯について教えていただけますか。

松島 平成16年頃から、全国で増加していた事務所荒らしや自動車盗などの犯罪を防ぐため、自分たちで何とかしなくてはという気持ちがありました。そこで、多治見市内の志のある企業と従業員に呼びかけを行い、自分たちの町は自分たちで守るという思いで、平成17年9月に62社の企業、総勢280人で「多治見自警団」を結成しました。現在では112社が参加し、480人を超える団員が活動しています。

―― 主な活動について聞かせてください。

松島 自警団は、「自治体が警察が何かしてくれるのかを問うなかれ、自治体に、地域に対して何ができるかを問え。事業所を従業員とともに守ろう」というコンセプトで、自分たちの家

所在地	多治見市
代表者	団長 松島祥久
活動人数	482人（112社）
活動開始	平成17年9月
活動エリア	多治見市内

平成18年度
岐阜県安全・安心
まちづくり賞

族と会社を自分たちで守るために、企業を中心とした母体をもつ自警活動を行おうということで、企業とその周辺地域の巡回パトロールと防犯意識の啓発から始めました。

―― 巡回パトロールはどのように行っておられるのですか。

松島 参加企業とその周辺地域を9班の12コースに分けて、徒歩により夜間のパトロールを行っています。3人1組で8グループの計24人が、多治見市内をほぼ毎晩、1時間程度歩くことによって、犯罪の抑止を図っております。

―― 徒歩でパトロールを行っておられるのですか。



松島 自動車巡回するという方法もありますが、自分たちは、歩いて回るということにこだわりを持って、パトロールを行っています。結成当初は、自分も団長ではなく1団員でしたが、本当に徒歩でできるものだろうか、自分の会社の従業員に、仕事が終わってから残業でもないのにもう一回夜のパトロールのために出てきてもらうようなことを説得できるのだろうかと思いましたが、でも従業員は、いいことだからやりましようと言ってきて活動が始まったのです。自分たちが地域のため



にできることは何なのかを考え、多くの従業員が積極的に参加してくれるようになりました。活動を通して、自分たちが地域に生かされているという意識を持つようになり、地域貢献への意識が高まったように思います。

―― パトロール以外にも様々な活動をされていますね。

松島 実際に夜間歩いていると、側溝がなかったり、暗くて危険な箇所がたくさんでできますので、発見した危険箇所を行政や町内会に報告するとともに、自分たちでできることは改善しました。例えば、側溝のふたを市から支給してもらって、自分たちで蓋かけをしました。街灯が切れている箇所があれば町内会に逐次報告しています。巡回地域を中心に、廃屋・空き家の調査を実施して、2棟の撤去につなげたこともあります。ほかには、地元のイベントの警備なども行っています。

―― 毎年、総会を開催されているとお聞きました。

松島 はい。こうした外向きの活動を続けるために、団員の意識を高揚するための内向きの活動も行っています。団内の活動として、年に1回総会を開催し、特に功績のあった団員を表彰しています。あわせて、団員同士の交流と慰労を兼ねた立食パーティーを



催しております。そのほか、毎月1回コミュニティFMに団員1名が出演したり、地区防犯協会が発行する地域安全ニュース「セーフティサポート」を会員企業にFAXで周知するなどの活動も行っています。

―― 団員のマグネットシートも作られていますね。

松島 はい。参加企業が負担して団名の入ったマグネットシートを作成し、事業所の出入口や車に貼って、団員の連帯意識の高揚や犯罪の抑止を図っています。また、毎月1回、自警団ニュースの発行も続けています。ニュースでは団員のパトロール日記や防犯情報を掲載するほか、企業のPRも行っております。

―― 防災の活動も行っておられるとか。

松島 団員の方から、水を備蓄しておいてはどうかという話が出まして、1人3リットルの水と、ソフトパン、缶詰などを、会社の社員数分だけ備蓄することにしています。社員もいざというときに全員来られるわけではないので、地域の人で分けて利用しようという考えで社員数分にしています。平成20年には、多治見市と防災協定を締結しました。備蓄の飲料水等は毎年確認しまして、更新しております。

―― 災害時の水や食料の備蓄で

すね。災害時一時避難所の提供もされていますね。

松島 はい。災害時に、一時避難所として事業所の建屋や用地を提供することにしています。29社に賛同いただき、建屋は耐震構造を備えている10カ所、用地は28カ所を提供しています。

―― 東日本大震災の被災地の視察をされたと聞きました。

松島 はい。東日本大震災の後、われわれは自分たちの町を守っていくという思いで活動しているが、自警団としては何ができるだろうかと考えました。そこで、平成23年9月から団員に呼びかけ、総勢52名で被災地の視察、研修にバスで行ってまいりました。岩手県陸前高田市の避難所になった慈恩寺というお寺の住職の方がたまたま団員と親交があったため、被災地の状況を詳しくお聞きすることができました。その際に印象に残ったこととして、被災直後には生活物資やそれを仕分けしたりするボランティアが必



要になります。それが落ち着くと、自立していくための仕事が必要だということでした。

―― なるほど。

松島 そこでわれわれとしては、以前から交流のあった陸前高田市の広田湾漁協を支援しようと一口1万円で募金を集め、私を含め4人の団員が現地を訪れて、それまでに集まった133万円を渡し、震災後にはじめて収穫されたわかめを、およそ450キロ買い取りました。





―― それが「ひろた基金」ですね。

松島 はい。広田湾漁協は、震災で建物が全壊し、およそ900隻の船が流されるなど、大きな被害を受けています。ひろた基金は、お金を渡すということではなく、海産物を購入することで生産が追いついてくるという考え方のもとでやっています。この活動は単年で終わるものではなく、10年間にわたって、広田湾漁協に水揚げされるカキやホタテなどの海産物の買い取りを続けることにしています。

―― 被災地の視察は、地域の防災対策にも生かされているそうですね。

松島 このような大きな災害が自分たちの町で起こったらと考え、団員に声かけして、防災意見交換会を開催しました。各企業の防災対策マニュアルの見直しを行ったり緊急連絡カードを作成するなど、防災対策の強化につなげることができました。

―― エコストーブを作られたとか。

松島 はい。被災地の視察で、ガスや電気が止まって煮炊きができなかったという話を聞きました。そこで、自警団の10周年記念事業として、消防団の方に協力していただいて、ガスや電気が止まっても、少しの火力で煮炊き

ができるエコストーブを150個作りました。消防署や警察署、市などに70個ほど寄贈する予定です。

―― 地域の夜間パトロールに始まり、本当に幅広い活動をされていますね。長年続いている秘訣はありますか？

松島 夜間パトロールは、400人以上の団員で順番に回していくため、月に1回程度しか歩かなくてもよいので、長続きしているのだと思います。それこそ毎週とか毎日だと本当に負担になって嫌だという話になると思いますが、月に1回程度のため続いているのだと思います。あとは、毎年のように新しい活動にも取り組んでいくことで、

自警団の意識が保っていられるのだと思います。

―― 課題はありますか。

松島 課題としては、新たな事業所を勧誘していかなければならないということと、自治会との連携が必要ということです。現在は、事業所に限らず個人でも参加したいという方もいらっしゃるのですが、個人でも入ってもらって歩いていただいているという状況です。

―― 今後に向けてひとことお願いします。

松島 このような活動は負担があるとなかなか難しいと思いますので、絶対にやれということではなく、雪や雨の日は順延するなど、ゆるい運営の話をしながらやっています。いろいろな活動に取り組んできて、これでなんとか10年来たなという感じでありませうけれども、これからも多治見のことを考えながらわれわれができることをやっていきたいと思っています。



子どもたちが助けを求められる「子ども110番の工事現場」

一般社団法人 多治見建設業協会

所在地	多治見市下沢町
代表者	理事長 松島祥久
会員数	28社
業種	同業団体（建設業）
活動開始	平成18年7月
活動エリア	多治見市、瑞浪市、土岐市

主な活動内容

- 子どもけんせつ110番
協会の本社事務所を「子どもけんせつ110番」とし本社事務所の敷地出入口にのぼりを立てて、万が一の駆け込みに対応しています。
- 子ども110番の工事現場
工期が1カ月以上ある通学路や公園・広場付近の建設工事現場を「子ども110番の工事現場」とし、工事敷地出入口にはのぼりを掲示するとともに、現場事務所の出入口にもステッカー表示をして、万が一の駆け込みに対応しています。
- 各会員への活動内容の周知徹底



活動をはじめた経緯

当協会では、地元建設業団体として地域貢献活動に力を入れております。その一つには平成16年3月に岐阜県と防災協定を締結した災害時における社会基盤の復旧活動です。「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神で活動を行ってきました。また、毎年2回の各地域での道路清掃活動（ロードプレイヤー活動）です。

そうしたなか、全国的に子どもたちが犯罪被害に遭う事件が報道され、地域でも不審者（不審車両）が出現しており防犯問題になりました。このため、当協会としても地域防犯活動に積

極的に参加し、子どもたちが危険な目にあった時には、通学路や公園などのそばにある建設工事現場が緊急的な助けを求められる場所となるようにと考え、多治見土木事務所と多治見警察署に相談し、平成18年7月に「子ども110番の工事現場」を発足しました。

工夫したこと・特色

活動の開始にあたり、「110番」を使用するための警察署との打ち合わせや、工事を発注する官公署や各市の教育委員会などの理解



を得ることに日時を費やしました。次に、活動内容を各会員へ周知徹底し、各会員に行う新規入場者講習や安全協議会において、一人ひとりの作業員や警備会社のガードマン等に対して十分な趣旨説明を行い、万が一の時の対応について理解を得ました。

活動の成果

現在まで対応事案は起きていませんが、平時における子どもへの「声かけ」や「見守り」等の防犯活動に役立っていると考えています。また、会社の事務所や工事現場等の事務員や作業員等の防犯意識の向上にもつながっています。

今後について

今後とも、建設現場の近辺の路上に潜む犯罪や危険から子どもたちを素早く保護するとともに、「地域で子どもたちを守る」「地域で子どもたちを育む」「安全を地域で守る」という風潮を盛り上げ、地域における犯罪抑止の向上と防犯意識の高揚に寄与したいと考えています。

これから始める事業者の皆さまへ

関係する機関との十分な調整が必要です。

平成19年度
岐阜県安全・安心
まちづくり賞

「自社の強み」を活かして活動する

一般社団法人 日本自動車連盟

岐阜支部

所在地	岐阜市六条江東
代表者	支部長 甲谷 弘
従業員数	66人
業種	サービス業
活動エリア	県内全域

主な活動内容

- 故障車・事故車等の二次事故防止対策
ロードサービス出動時・帰還時において、道路上で故障車・事故車等に遭遇した際に、サービスカー搭載の安全資機材での安全対策や警察・救急への連絡対応等をしています。
- 道の駅での車両点検の実施
県内5か所の道の駅にて待機を行い、来訪者や通行車両の点検を実施して車のトラブル予防活動をしています。



活動の経緯

ロードサービスの機動力を活かし、社会の安心・安全を守る活動を行っています。

工夫したこと・特色

ロードサービスにより培われた最適な対応策を講じ、二次事故防止に努めています。

車のプロであるロードサービス隊員が点検を行いますので、安心して運転していただけます。

活動の成果、今後に向けて

トラブルが起こってから呼ぶJAFではなく、

お出かけ前やお出かけ中の点検作業が好評で、数多くのお客様に声をかけていただいております。

今後も県内での点検活動を強化して、安心・安全に自動車を使用できるように努めます。

担当者の声

- 岐阜支部ロードサービス隊
主管・高木浩治さん

現在の交通事情では二次事故の発生が非常に多く、命にかかわることもあります。我々の対策により、二次事故が防止できれば幸いです。また、道の駅では正式な許可をいただき待機しておりますので、お気軽に声をかけてください。



これから始める事業者の皆さまへ

特別に資材を購入したり、準備する必要はなく「自社の強み」を活かして活動することで、安心・安全なまちづくりができると思います。



地域住民が相互に見守り活動を行う仕組みづくり

社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会

所在地	大垣市馬場町
代表者	会長 山岡泰利
従業員数	123人
業種	社会福祉事業
活動開始	昭和50年3月
活動エリア	大垣市内

主な活動内容

○高齢者等の見守り活動の充実

見守り事業所が、日常業務の中で異変を感じた場合には、マニュアルに基づき連絡をいただきます。連絡があった際は、即そのお宅に、関係する職員が出向いて安否確認を行い、必要に応じて専門機関と連携して対応します。また、連絡をいただいた事業所に対しては、対応した内容等について報告します。

活動をはじめた経緯

少子高齢化が進む中、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、要介護者などの要援護者が急増し、これまでの民生委員など一部の特定した支援者による見守り活動だけでは対応しきれない状況になってきました。そこで、地域住民が相互に見守り活動を行う仕組みづくりに取り組みました。平成20年度から3ヵ年かけて、あんしん見守りネットワークモデル事業を実施し、地域住民による見守り活動を充実させてきました。また、地域での個別の課題も複雑、多様化してくるなか、住民だけでは解決できない課題が多くなり、専門機関と地域住民が協働して支援する仕組みとして、平成23年度からは、地域支援ネットワーク委員会モデル事業を3ヵ年かけて実施しました。この取組みにより、市内の20の地区社協で、自治会活動の一環として見守り活動が充実してきました。

さらに、見守り支援者の輪を広げ、よりきめ細かい見守り活動を行うために、平成25年度からは、宅配業者や郵便局、新聞販売店など26事業所と見守り協定を締結しました。

工夫したこと・特色

事業所からの連絡が24時間いつでも受け

られるようにするために、地域包括支援センターと連携しています。特に対象が高齢者の場合は、地域包括支援センターと協働で対応しています。

活動の成果、今後に向けて

平成26年度実績として、年間10件対応しました。

平成26年度も新たに6事業所と協定を締結し、現在32事業所に登録していただいています。今後も見守りに協力いただける事業所の輪を広げていきたいと考えています。

担当者の声

○地域福祉課 三輪広美さん

地域には支援を必要とする要援護者が多く存在します。地域との関わりを拒否する方もおられ、課題があっても潜在化して見えてこないことがあります。一人でも多くの目で地域の課題を見出していただけたらと思います。



これから始める事業者の皆さまへ

最近では孤立している方が増えているようですが、その実態はわかりにくい状況です。その中で、いろいろな社会資源を活用して見守り活動が多方面からできる仕組みづくりをすることが大切かと思えます。



▲見守り事業所ステッカー



中津川市新聞販売店地域安全協力会

所在地	中津川市坂下
代表者	会長 田口勝晴 前会長・相談役 伊藤 隆
構成団体等	中津川市内の新聞販売店 (14店)
活動人数	約120人
業種	同業団体(新聞小売業)
活動開始	平成17年12月
活動エリア	中津川市内

主な活動内容

- 「安全・安心ニュース」の制作・配布
中津川警察署の生活安全課と協力して、地域の「安全・安心ニュース」を制作して新聞に折り込み、市内の読者に防犯を呼びかけています。
- 地域の防犯パトロール
毎日の新聞配達時に防犯ベストを着用して、防犯パトロールを行っています。

活動をはじめた経緯

中津川市内で女子中学生が命を奪われる事件が発生したことを契機に、中津川市教育委員会と協力して防犯チラシなどを新聞に折り込み、市内の安全・安心を促すことをはじめました。

工夫したこと・特色

防犯ベストは、早朝の朝刊配達時のまだ暗い時間帯でも確認でき、効果があると思われます。夕刊配達時にも防犯ベストを着用し、子どもの下校時の見守り活動を行っています。

活動の成果

地域ではある程度定着してきたのではないかと考えています。



配達という業務の特徴を生かした防犯パトロール活動

古川町商工会

所在地	飛騨市古川町若宮
代表者	会長 谷邊芳弘
活動人数	古川町商工会会員 140人
業種	経済団体
活動開始	平成18年5月
活動エリア	飛騨市古川町内

主な活動内容

○配達・店先パトロール隊

商工業者の配達という業務の特徴を生かし、車両に「配達パトロール隊」と表示されたマグネットシートを貼り付けて、時間、場所を選ばず、365日、無理なく子どもを守る光目となる配達パトロールを行っています。また、配達がない事業所にはシールを店先に表示し、店先で子どもたちを見守るように店先パトロールを行っています。

活動をはじめた経緯

全国各地で子どもが被害者となる事件や事故が後を絶たず、子どもがのびやかに生活し、健やかに成長できる環境をつくるために、古川町商工会として何かできないかという考えから、商工業者の配達という業務の特徴を生かした防犯パトロール活動を開始することになりました。



工夫したこと・特色

時間に拘束されるボランティアは、したくてもできない人が多いですが、仕事を兼ねられるのであれば、無理なく継続できるメリットがあります。

ボランティア活動をするにあたり、配達パトロール隊は、配達を兼ねたパトロール中の事故違反がないように指導し、店先パトロール隊に



は、店先に立つての声かけにより、住民の方に顔を覚えてもらい、活動を印象づけるよう会員に指導しています。また、不審者発見等の際には捕まえるのではなく、受傷事故がないよう、速やかな通報に努めるよう指導しています。



活動の成果

会員負担の少ない活動形式ということもあり、継続して活動していただいています。

また、早朝・深夜の配達等であっても、車両にパトロール隊のシートが表示してあることで地域住民に安心して受け入れられていると、会員からの声が聞かれます。

今後について

今後も継続していきたいと思っています。



近隣地域の巡回を電気自動車によって行うことで地域の安全・安心に貢献

カラフルタウン岐阜

株式会社トヨタオートモビルクリエイティブ

所在地	岐阜市柳津町丸野
業種	不動産賃貸業（商業施設）
活動開始	平成18年8月
活動エリア	施設近隣（岐阜市柳津町）

主な活動内容

○子どもの見守り活動

朝 7:20 ~ 7:40、施設付近において（従業員駐車場を集団登校の際の集合場所として使ってもらっています）、近隣小学生の通学路横断歩道での交通監視と見守りをしています。

○防犯パトロール

施設周囲の従業員駐車場および住宅街を、回転灯と「防犯パトロール中」のステッカーを付けた電気自動車により警備員が巡回しています。

○清掃活動

毎月1回、施設周辺の清掃活動を実施しています。また、年1回のウォークイベントの後には、河川敷緑道公園の清掃活動を行っています。



活動をはじめた経緯

カラフルタウンでは駐車場の管理に電気自動車を使用しています。

従業員駐車場が施設周囲に点在しており、従業員駐車場の巡回とともに近隣地域の巡回を環境に優しく静粛性の高い電気自動車によって行うことで地域の安全・安心に貢献したいと考え、取組みを始めました。



工夫したこと・特色

ウォークイベントの後の清掃活動には、事前にウォーク参加のお客様にもアピールし、多数の一般のお客様にも楽しみながら参加いただいています。

活動の成果、今後に向けて

施設周辺の駐車場は当施設の従業員が個人で借りている駐車場もあり、車上ねらいの被害も報告されていました。

本活動により警備員が巡回することで、車上ねらいの抑止や近隣住宅街の不審者警戒に貢献できているものと評価しています。

これから始める事業者の皆さまへ

小さくても継続して出来ることを積み重ねて地域での理解と協力の輪を少しずつ広げていくことがよろしいかと思えます。

平成22年度
岐阜県安全・安心
まちづくり賞

私たちにできる、防犯パトロールや地域清掃活動を実施

株式会社

鳴海組

所在地	中津川市手賀野
代表者	代表取締役 鳴海伸明
従業員数	23人
業種	総合工事業
活動開始	平成19年5月から
活動エリア	東濃地域（主に中津川市内）

主な活動内容

○防犯パトロール

当社独自の「防犯パトロール中」の防犯ステッカーを作成し、社用車や建設機械等の目立つ場所に貼って、本社から作業現場への移動の際に、朝・夕2回の安全パトロールを実施しています。

○環境美化活動

毎年、会社倉庫周辺の不法投棄物やごみ拾いなど、地域ボランティア活動を行っています。

○子ども110番の家

本社では、子ども110番の家に登録して看板を掲げるとともに、通学児童、生徒を見守っています。



活動をはじめた経緯

平成18年4月に中津川市で発生した悲しい事件を機に、地域に密着した企業にできることを模索するなか、中津川市が進める安全・安心まちづくりに賛同して、私たちにできる、防犯パトロールや地域清掃活動を実施することになりました。



活動の成果

安全パトロール活動を実施してから、不審者や不審車両を見かけることがなくなりました。

また、不法投棄の多かった山間の民家や交通量が少ない場所の清掃活動を行った結果、市の監視カメラの設置効果もあり、不法投棄が減少しました。



今後について

今後も活動を継続していきたいと考えています。



平成22年度
岐阜県安全・安心
まちづくり賞

県内各地域を走行し無線機を搭載している特性を活かして

岐阜県タクシー協会

所在地	岐阜市日置江
代表者	会長 山田久典
活動人数	2,500人
業種	同業団体（道路旅客運送業）
活動開始	平成18年8月
活動エリア	県内全域

主な活動内容

- 「タクシーこども110番」
車両に「タクシーこども110番」のマグネット表示板を貼り付けて走行することにより、犯罪の抑止に努めています。万一、何らかの被害にあった、または被害にあいそうになった子どもが助けを求めてきた場合には、車内に保護し、無線で犯罪・事故等の緊急通報を行うなど、手順に従って必要な措置を取り、子どもの安全確保に努めることとしています。
- 子ども110番の家
一部の地域では、タクシー事業用施設を、子どもが助けを求めてきた際に保護する「子ども110番の家」として活用しています。
- 認知症高齢者等の交通事故抑制対策
岐阜県警察と「路上寝込み者等の轢過事故防止に関する協定」を締結し、路上で寝込んだり、認知症高齢者等の路上で徘徊する人を発見した場合には、防護措置・警察への通報を行うこととしています。

活動をはじめた経緯

全国各地で子どもが犯罪に巻き込まれる事件が多発し、大きな社会問題となっていることから、社会貢献活動の一環として、タクシーの特性を活かし、犯罪に巻き込まれやすい子どもたちの安全を守るための活動を実施することにしました。

また、交通事故抑制対策として、路上で寝込んだり、徘徊したりする人との轢過事故（車両が人をひく事故）防止のための取組みを実施することとしました。



工夫したこと・特色

タクシーが県内各地域を走行し、無線機を搭載している特性を活かして、子どもたちをトラブルから守るとともに高齢者等の交通事故を抑止し、安全で安心できる地域社会の実現のための活動を続けています。

今後について

輸送の安全活動は業界の最優先課題であり、交通事故の防止をはじめ、安全で安心できる地域社会の実現に取り組みます。



清掃活動と併せた安全パトロール活動を実施中

株式会社 横建

所在地	各務原市那加前洞新町
代表者	代表取締役 横山浩之
従業員数	46人
業種	総合工事業
活動開始	平成19年5月
活動エリア	各務原市及び近郊地域

主な活動内容

○清掃活動と安全パトロール

現在、毎週月曜日の早朝、地元地域の各所において、清掃活動を実施しています。また、河川清掃や道路清掃に積極的に参加しています。清掃活動と併せて、フレンドリー企業として安全パトロールを実施し、危険箇所や整備の必要な箇所を発見した場合には各自自治体へ報告しています。そのうち、軽微なものについては自主的に修繕・整備を行っています。

さらに、地元自治体主催のイベント等にも積極的に参加しています。

活動をはじめた経緯

平成19年4月、現在の社会情勢の中で日頃お世話になっている地域の住民の方に貢献できることとは何かを考え、地域の環境整備と住民の方とのコミュニケーションを図ることを目的に、週に一回、朝の30分程度の時間を使い、清掃活動と併せた安全パトロール活動を開始しました。



活動の成果

清掃活動と安全パトロールを続けてきたことにより、地域の住民の方との会話がぐんと増え、コミュニケーションがとれるようになってきました。一緒に清掃活動を行う住民の方も増え、きれいなまちづくりにつながっていると感じています。

また、活動を継続することにより社員一人ひとりの意識が向上し、細かいところにも気づくようになり、修繕・整備の件数も増え、安全・安心なまちに一步一步近づいていると実感しています。



今後について

清掃活動だけでなく、地域の行事等に積極的に参加し交流を図るとともに、安全確保に協力していきたいと思っています。

平成23年度
岐阜県 安全・安心
まちづくり賞

中津川の子どもたちのために少しでも役立てば

株式会社

桃井建設

所在地	中津川市駒場
代表者	代表取締役 桃井長宏
従業員数	10人
業種	建築工事業
活動開始	平成18年3月
活動エリア	主に中津川市内

主な活動内容

○地域の防犯パトロール
事業用車両に「防犯パトロール実施中」のステッカーを貼り、営業、材料の配送業務等で市内を走行するかたわら、地域の安全、防犯パトロール活動を実施しています。

活動をはじめた経緯

全国各地で子どもが犠牲となる事件が多発していることを憂慮し、事業所でもできる活動で、「中津川の子どもたちのために少しでも役立てば」との思いから取り組みをはじめることになりました。

工夫したこと・特色

車両で事業所と現場などを往來することが多いことから、業務の特性を生かして、事業活動をしながらか「子どもの見守り・防犯パトロール活動」を行っています。

今後について

今後も地道な活動を継続し、地域の安全・安心に貢献していきたいと考えています。



ごみ収集業務と併せて防犯パトロールを行う

株式会社 山田組

所在地	羽島市竹鼻町駒塚
代表者	代表取締役 平松芳郎
従業員数	50人
業種	一般廃棄物処理業
活動開始	平成20年3月
活動エリア	羽島市内

主な活動内容

- 防犯パトロール
ごみ収集車両全台に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、週6日のごみ収集日に作業を行いながら地域の人たちとコミュニケーションを取りつつ、防犯パトロールに努めています。
- 環境美化活動
ボランティア活動の一環として、工場周辺のごみ拾いも行っています。

活動をはじめた経緯

市が一般廃棄物収集運搬及び処理業者としてゴミ収集を委託している業者であり、地域に密着した事業内容で市民と接する機会も多ことから、地域への恩返しの意味を込め地域貢献をする目的で、「安全・安心まちづくりフレンドリー企業」に登録し、防犯ボランティア活動を続けています。



工夫したこと・特色

ごみ収集車両にステッカーを貼り、ごみ収集業務と併せて防犯パトロールを行う活動はシンプルではありますが、活動範囲は市内全域に及び、地域の人々の目にふれる機会も多いこ

とから、効果的なパトロールを行うことができます。

今後について

今後も、このような活動を続けながら地域の方々とのコミュニケーションを図り、地域の安全・安心に貢献していきたいと考えています。



平成24年度
岐阜県 安全・安心
まちづくり賞

「変化や異常に気付く」「困っている人がいたら助ける」

東清

(とうせい) 株式会社

所在地	中津川市駒場
代表者	代表取締役 吉村敏博
従業員数	80人
業種	廃棄物収集運搬業、 水処理施設維持管理業
活動開始	平成18年8月
活動エリア	中津川市

主な活動内容

○防犯パトロール

社有車に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り付け、地域の様子に注意を払いながら走行しています。

代表取締役 吉村敏博

弊社には、約70車の社有車があり、平日は中津川市全域をまわり、仕事をさせていただいております。弊社の仕事は地域の皆さんのご理解やご協力があるからこそできるものだと思います。このような活動を通して、お世話になっている地域の皆さまに少しでも恩返しできれば…という気持ちで取り組んでおります。



活動をはじめた経緯

安全・安心まちづくりに取り組む企業の登録制度が岐阜県と中津川市で開始され、その趣旨に賛同したことから、平成18年8月に県および市に登録し、活動を開始しました。

当社は仕事柄、中津川市全体をまわっています。また、定期的に同じ社員が同じ地域、同じルートを通ります。それにより、変化に気づき、未然に事故や事件を防ぐ一助になれるのではないかと考えています。

工夫したこと・特色

社員の多くが、見守り、声かけ、ひいては人命救助や火災の消火、交通事故後の救助などを行ってきました。これは社員が自ら行ったことです。手前味噌ながら、このように自然に人助けができる社員が多いことが、当社の特色と言えるかもしれません。



活動の成果、今後に向けて

岐阜県および中津川市が当取組みを開始して以降、犯罪等が減っていると聞いております。これは、県や各市町村の呼びかけにより登録団体が増え、その皆さまのお力、相乗効果によるものだと思います。

今後も、「変化や異常に気付く」「困っている人がいたら助ける」ということを日頃の業務の中で、自然な気持ちで行っていく所存です。



これから始める事業者の皆さまへ

当社の社員は面識のない方でも自ら動くことができている。これは、地域の仲間意識のある岐阜県民の特色なのかもしれません。

無理をせず、仕事の仕組みの中で、自然と行える方法で取り組まれてはいかがでしょうか。



地域のボランティアや関係機関と連携を図りながら活動

社会福祉法人

岐南町社会福祉協議会

所在地	羽島郡岐南町野中
代表者	会長 松原 伊作
従業員数	10人
業種	社会福祉事業
活動開始	平成18年9月
活動エリア	岐南町全域

主な活動内容

- 地域の防犯パトロール
社会福祉協議会の地域福祉活動において、町内各地へ出向き事業を実施する時に、車両に「安全パトロール」の表示をして地域安全を兼ねた活動を実施し、町民の方に啓発しています。
- 防災関連事業の実施
「防災とボランティア週間」に関連し、災害に対する普段からの備えや対応について、被災された方の声やボランティア活動を通じた体験を聞き、災害時における認識を深めることを目的とした講演会を、岐南町赤十字奉仕団との共催により実施しました。
- 高齢者世帯等の見守り
平成27年度より、町受託事業として「高齢者世帯等見守り事業」を実施しています。この事業は、地域の高齢者等のお宅を定期的に訪問し、体調や生活状況を把握しながら、必要なサービスを提供できるよう支援するものであり、個別訪問時や事業参加者に対して、防犯や交通安全等の啓発など、情報提供を行っています。

会長 松原 伊作

地域巡回車両によるパトロールから始まった活動ですが、町内各地で実施する行事の参加者に向けた啓発や情報提供をすることにより、町民の皆様にも周知することができました。関係機関やボランティア団体等と連携しながら実施できたことも良かった点です。

また、新規事業の「高齢者世帯等見守り事業」においても、地域の高齢者と顔を合わせながら信頼関係を築き、防犯、防災、生活安全等の啓発や情報交換、必要なサービスに繋がれるように更に努力していきたいと考えています。



活動をはじめた経緯

平成5年3月、社会福祉法人設立以降、地域福祉活動を進める中で、平成12年より介護サービス事業を開始しました。

平成18年には岐阜県社会福祉協議会の下部組織として、安全・安心まちづくり事業に登録し、地域巡回や町内各地での事業実施の際に、併せて地域安全活動を実施することとしました。

工夫したこと・特色

社会福祉協議会として、普段から地域のボランティアや関係機関と連携を図りながら活動しているため、地域安全活動においても、各関係者と連携することにより住民の方に周知や情報交換を進めることができます。

また、民生委員児童委員や地域のボランティアの参加協力によるサロン等の交流事業の充実と併せ、住民の方にお知らせする回数も増え、より多くの方に周知することができます。



活動の成果、今後に向けて

地域事業の中に、防犯や生活安全などの情報を取り入れた活動をすることにより、参加者の方に理解していただくことができました。

地域サロン等の交流事業の充実と併せ、より多くの方に周知することができたことと、地域の民生委員児童委員やボランティアの参加協力をいただき、相互の情報交換を図ることができました。

今後は、地域の方による自主的、積極的なサロン運営を促しながら、更に生活安全について関心を高めていきたいと考えています。



車両にステッカーを貼ることで地域の防犯意識が高まる

中部電力

株式会社
中津川営業所

所在地	中津川市太田町
代表者	中津川営業所長 大池昭博
従業員数	73人
業種	電気事業
活動開始	平成18年12月
活動エリア	中津川市、恵那市

主な活動内容

- 地域の防犯パトロール
当社の車両に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、日ごろの営業活動の中で地域を見守るよう従業員への意識付けを図っています。
- その他の活動
 - ・営業所付近の河川（四ツ目川）付近の清掃活動（年2回）
 - ・中津川市、恵那市の「高齢者等の見守り活動」への参画（協定書締結）



活動をはじめた経緯

当社は、毎月の検針や電気容量の増減設等によるお客さま訪問、電柱等の設備点検による巡視時など、日ごろの業務において地域を見守る活動を展開しております。

平成18年12月からは、「岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業」と「中津川市地域安全ボランティア団体」へ登録し、車両にステッカーを貼ることで地域の防犯意識が盛り上がる一助になればとの想いで活動しています。

活動の成果

ステッカーを貼った車両が市内を走り回ること、地域の防犯意識に貢献でき、従業員の地域防犯に対する意識も高まっていると考えています。なお、最近では毎月検針に訪問する検針員が火災の通報をしたり、行方不明者の発見に協力するなど、防犯意識が定着しています。



今後について

これからも、地域の一企業として、この地域の方々が安心して暮らせるよう、少しでも力になれる活動を継続していきます。



これから始める事業者の皆さまへ

この活動は大きな負担もなく、無理なく気軽に参加できる活動です。

従業員の地域防犯に対する意識の向上や、地域全体の防犯活動の活性化にもつながるため、ぜひ一緒に活動しましょう。



「こどもみまもり隊 JA110番」を発足し、活動

陶都信用農業協同組合

所在地	多治見市音羽町
代表者	代表理事組合長 水田 修
従業員数	493人
業種	農業協同組合
活動開始	平成18年5月
活動エリア	多治見市、瑞浪市、土岐市

主な活動内容

○防犯パトロール

営業車や営業用バイク(カブ)などに「こども見守り隊 JA110番」のステッカーを貼り付け、営業活動をしながら地域防犯活動に取り組んでいます。

防犯標語のステッカーを貼った車両が走ることで、犯罪への抑止効果と地域住民の方の防犯意識の高揚を図っています。万一事件、事故を発見した場合や、子どもが助けを求めたり被害にあいそうな場合には、救助活動や110番、119番通報を行い、付近にいる人に協力を要請するなどの必要な活動を行う体制づくりをしています。

○通学路の子どもの見守り

春、秋の交通安全運動の期間中は、小学校の登校時間帯に職員が通学路に立ち、子どもの見守りとあいさつ活動を行っています。

活動をはじめた経緯

全国各地で子どもが被害にあう悲惨な事件、事故が相次いだことを受け、子どもを狙った犯罪の防止のためには犯罪が起きにくい環境づくりが重要であると考え、平成18年5月にJAとうと地域防犯活動「こどもみまもり隊JA110番」を発足しました。



工夫したこと・特色

子どもが巻き込まれるような犯罪のない地域社会の実現を目指して、日常業務の特性を生かした防犯活動を展開しています。



活動の成果

9年間活動を続けてきたことで、地域住民からはJAとうとの地域防犯活動の認識をいただいています。今日まではJAとうとが関わる事案は発生していませんが、今後においても犯罪の未然防止につながる活動を実践していきます。



今後について

地域防犯活動をはじめとする様々な地域貢献活動を通じて、地域の皆さまの生活の向上と地域の発展に貢献していきたいと考えています。



「誰もが住み続けたいと思える地域の実現」をめざす

社会福祉法人
中津川市社会福祉協議会

所在地	中津川市かやの木町
代表者	会長 加藤 出
従業員数	242人
業種	社会福祉事業
活動開始	平成18年
活動エリア	中津川市内

主な活動内容

- 見守り活動・防犯パトロール
中津川市内の当会本所及び5支所において、介護保険事業や障害福祉サービス事業などでの利用者送迎時、訪問活動時に、当会の事業用車両（約90台）が稼働し、地域の様子に注意を払いながら子どもや高齢者の見守り活動、防犯パトロールを実施しています。
- 地域生活あんしん事業
当会の地域福祉事業として市内15地区に住民主体による小地域福祉活動を推進する社会福祉協議会支部を組織し、15支部で「地域生活あんしん事業」として、子どもの登下校時の見守り活動や詐欺被害などの防犯活動、防災に関する活動などを展開。また、こうした活動を推進する地域福祉推進員を養成するため詐欺被害防止の研修会などを行っています。
- 情報紙の配布
市内の民生委員の協力により、ひとり暮らしの高齢者などへ、暮らしや福祉サービスなどに関する情報提供と見守り活動を目的とした情報紙「ふれあい通信」を配布しています。（年6回発行、3,200部/回）



▲中津川市社会福祉協議会・坂本支部
地域福祉推進員研修会

活動をはじめた経緯

平成18年に中津川市が「安全安心まちづくり条例」を制定したことを受け、地域安全活動に貢献するため活動を開始しました。

地域安全活動を実施し「安全安心のまちづくり」を行うことは、当会の理念である「誰もが住み続けたいと思える地域の実現」をめざすことと合致するため、活動を積極的に推進しています。



▲中津川市社会福祉協議会・東支部
地域福祉推進員研修会

工夫したこと・特色

地域福祉を推進する中核として、地域住民のみなさんにご理解とご協力をいただきながら取り組んでいます。

活動の成果、今後について

見守り活動、防犯活動に取り組むことにより、危険の発生を未然に防ぐことができました。また、地域の方からの情報を受け、福祉サービス提供につなげています。



▲中津川市社会福祉協議会・阿木支部
地域福祉推進員研修会



「岐阜県 安全・安心まちづくりフレンドリー企業」を 募集しています！

岐阜県では、地域の安全確保に向けた活動を行っていただける企業や団体を、「岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業」として登録しています。犯罪のない安全で安心して暮らせる地域づくりのため、多くの企業・団体の皆さまのご登録をお待ちしています。

○登録の対象となるのは？

- ・県内に本社、事業所等を有する企業または団体であること
- ・地域の安全につながる活動を継続的に行っていただけること
- ・必要に応じて行政や警察との連携が可能であること

○活動の内容は？

～企業が行う地域の安全への貢献～

<活動例>

- ・社用車に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り付けた地域の見守り活動
- ・会社周辺のごみ拾いなど、犯罪の起こりにくい地域づくりに向けた環境美化活動
- ・振り込め詐欺等の犯罪被害防止の啓発活動、従業員への防犯教育
- ・「こども 110 番の家」として子どもの駆け込みに対応
- ・子どもや高齢者の見守り活動
- ・地域のボランティアと連携した防犯パトロール
- ・地域の防犯ボランティア団体への活動用品の提供などによる支援

※活動内容には様々な形態がありますので、お気軽にご相談ください。

○登録すると？

- ・「フレンドリー企業」であることを示す揭示用看板*をお渡しします。
- ・企業・団体名、活動の様子を県のホームページ等で紹介します。
- ・地域安全に関する情報を定期的に提供します。
- ・特に優良な活動を行い実績を上げている企業への表彰制度があります。

○登録方法は？

- ・次ページの登録申込書にご記入のうえ、下記まで郵送または FAX でお申し込みください。

<申込先>岐阜県環境生活部 環境生活政策課

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

TEL 058-272-8205 FAX 058-278-2605

- ・Eメールによるお申し込みの場合は、様式を県HPよりダウンロードしてください。
- Eメールアドレス c11260@pref.gifu.lg.jp

岐阜県 フレンドリー企業

検索



揭示用看板



岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業登録申込書

ふりがな 企業名		
代表者	役職	氏名
所在地	〒	
連絡先	TEL	FAX
	E-mail	
担当者	部署・役職	氏名
県内の事業所数 (本包含む)		
県内の従業員数	人	
フレンドリー企業としての活動内容		
活動車両台数 (該当がある場合のみ)	*「防犯パトロール中」等のステッカーを貼って活動する車両のこと 台	
活動開始時期	年 月	
主な活動地域	県内全域 一部地域 ⇒ (具体的に)	
活動頻度	毎日 ・ 週に_____回 ・ 月に_____回 ・ その他 ()	
活動時の使用物品	ある ⇒ (具体的に) ない	

- ※ 記載いただいた情報（個人に関する情報を除く）は、県のホームページ等に掲載させていただきます。
- ※ 可能であれば、活動中の写真を2枚程度あわせてご提出ください。県のホームページ等で紹介します。
- ※ 記載いただいた情報は、地域安全活動の推進を目的として、岐阜県警察本部、岐阜県教育委員会、関係市町村等に情報提供させていただく場合がございますのでご了承ください。



清流の国ぎふ

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
TEL 058-272-8205 FAX 058-278-2605

平成27年10月発行